

2025年度看護師負担軽減計画

勤務状況	評価体制
■看護師数:2025年4月1日現在 常勤 202名、非常勤 8名 ■看護師週平均業務時間:2024年度実績 平均週 38.725時間(内残業 1.075時間)	■看護師負担軽減会を編成し、定期的に軽減会にて進捗管理を行う (構成員:副院長(委員長)、以下 看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、 リハビリ療法士、臨床工学技士、総務人事課職員、医事課職員、医師事務作業補助者) ■軽減会を年3回(4月・10月・3月)開催して達成状況を確認する ■年1回以上病院長が軽減会に参加する
目標 : 各部門/分野の具体的な方策の達成度80%以上	

部門/分野	現状・問題点	対応方針	具体的な方策	達成度	達成年度
看護補助者	1.ケアスタッフによって、業務内容に制約がある	・ケアスタッフマニュアルの見直しと周知 ・介護福祉士による入浴前のバイタルサイン測定の実施	・各部署で定期的に看護補助者の業務の見直しを行っていく ・看護師とベアでできる業務を指導し実施していく ・介護福祉士を対象としたバイタルサイン測定の院内研修の開催	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
薬剤管理	1.病棟配置 2.薬の払い出し遅滞 3.時間外処方	1.病棟配置継続 2.薬の払い出し遅滞の回避 3.時間外処方の対応	1.服薬指導、退院時の説明、残薬チェック、相談応需 2.業務優先順位の見直し、監査担当者の役割継続 3.薬剤師24時間常駐体制の維持	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
画像診断部	カテ業務でのDr.PHSの応答対応をする	カテ業務中にDr.PHSの対応をNsが行っている。現場Nsにヒアリングしてみると、Pt観察中や記録中に頻繁にCallがあり、業務に支障が出ることがあるという訴えがある	Dr.PHSの応答対応をRTが行う。各Dr.PHSごとに配置し急用なら取り次ぎをし、そうでなければPHS対応用のメモ用紙を作成しDrに引き継げるよう体制作りをしていき、できるだけNsの手を煩わせることがないような業務体制を整えていく。メモ用紙形式の改正や医師への取り次ぎ方法を思案していく	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
臨床検査部	中央採血室における人員不足	採血室の増員及び運用の見直し	システムの導入により適正な人員配置及び患者の流れを変える	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
リハビリセンター	患者のADL能力が病棟での生活に活かされていない事がある	病棟活動度(安静度)の円滑な連絡	タイムリーな連絡(掲示板)、目標設定シートの適時修正	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
臨床工学部	呼吸器の管理が不十分	呼吸器の保守管理業務の充実	呼吸器(侵襲的・非侵襲的に関わらず)の導入から離脱までの業務介入。人材の育成	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
医事課	診療以外の電話の取り次ぎが多く、看護業務が中断される	診療以外の内容はできるだけ初期対応で完結する 患者家族などへの電話連絡はなるべく控え、事前の説明をしっかりと行う	患者への会計案内や医療費に関する質問に対応 各種事務補助業務支援や受付一次対応等による分担	中間達成 % 最終達成 %	2025年度
総務人事課	・看護師の研修が多い ・看護師の不足	・看護師の研修における事務的手続きのサポートを行う ・看護師採用活動のサポート	・円滑に研修が行えるよう書類作成等の事務的な窓口となり対応する ・就職説明会への参加。HP等の広報活動を積極的に行う	中間達成 % 最終達成 %	2025年度

	時期	状況
進捗状況	4月	今年度の方針・方策の確認
	10月	中間達成度の報告
	3月	最終達成度の報告